

発信箱

冠木 雅夫

編集編成局



江戸城と「日本橋美人」

東京・日本橋は話題が多い。高速道路の撤去問題や水辺の再生構想。ビル街の再開発も進みつつある。一方で面白いのは名だたる老舗の皆さんの動きが活発なことだ。そんな日本橋発のイベントに江戸城再建を目指す団体が参加することになった。

イベントは「EDO ART EXP O」。NPO法人、東京中央ネット（理事長＝山本徳治郎・山本海苔店社長）の主催だ。9月28日から19日間、中央、千代田、墨田、港4区内の参加企業や文化施設で「江戸の美意識」をテーマに催しが行われる。

総合プロデューサーの山田晃子さん（同ネット副理事長）がNPO法人「江戸城再建を目指す会」会長の太田資曉さんと情報紙「日本橋美人新聞」で対談し「江戸城」との縁が深まった。太田さんは太田道灌の18代目の子孫。東京・八重洲地下街の会場で天守閣の復元図やCG映像、模型などを展示することになった。

山田さんに聞く。「東京駅をはさんで分かれて見えますが、日本橋はじめ江戸市中は城と一体で栄えた町です。江戸城の皆さんと目指すところは同じだと思うので」。

お膝元なので一緒にやるのは当然という。「EXP O」は過去4回「日本橋美人博」として開かれていた。地域も広がり改称したそう。そもそも「日本橋美人」とは？

「日本橋の良さをどうPRしたらいいかと考えました。おいしいものを食べて、いいものを身につけて、あるいは知性や教養をつけて美人になる。証券会社や銀行、老舗のイメージが強い日本橋を若い女性に魅力的な街にしようと」。各店がさまざまな「日本橋美人商品」を提案している。

イベントは東京で開かれる国際通貨基金（IMF）・世界銀行総会に合わせて開かれる。これを機に江戸文化を改めて世界に発信したいという。

2012.6.29